

演習の社会教育（事業）計画内で使用する用語の整理

用語	意味	概ねの 実施期間	担当組織 (実施機関)	
政策	自治体が目指すべきまちづくりの方向や目的を示すもの	10年以上	行政全体	
施策	政策を実現するための方策	5～10年	局レベル	⇒ 複数年で、他部局を巻き込む
施策の柱	施策を実現するための手段	3～5年	局または課レベル	
事業 (事務事業)	施策を実現するための具体的な手立て	毎年度	課または係レベル	⇒ 単年度で、単一部局での事業

⇒ 政策は施策の集合体であり、施策は事業を集めたものになる。事業の積み重ねが政策へとになっていく。

社会教育事業（計画）の内容

☆社会教育事業（計画）は、対象あるいは学習領域・内容に分けて計画される場合が多い。

【対象別】

青少年教育、成人教育、女性教育、高齢者教育など

【学習領域・内容別】

家庭教育支援、生涯スポーツ振興、環境教育、
人権教育、キャリア教育・職業教育、
情報化に関する教育、高齢社会に関する教育、
男女共同参画に関する教育、障害者の生涯学習、
学校と地域の連携・協働の推進 など

施策（区分）の例と事業例

施策（区分）	事業例
推進体制	調査研究、体制構築、組織編制、居場所づくり 等
人材育成	指導者研修、リーダー養成 等
学習機会の充実	講座、学習会、交流機会 等
普及啓発	交流大会、リーフレット作成 等
団体支援	関係団体研修、補助事業 等
その他	施設整備事業 等

事業対象と学習領域・内容が決まったら、具体的に事業を進めるための「施策（区分）」を参考にし、最終アウトカムが達成できる事業の骨子を検討しよう

評価項目の例

- A 知識・技術の習得
- B 仲間づくり
- C 地域課題の解決
- D 学習の仕方の習得
- E 普及・啓発
- F 市民講師の発掘・養成
- G リーダー層の発掘・養成
- H ボランティアの発掘・養成
- I 団体の活性化
- J 他機関・団体との連携

評価指標の作成例

事業に共通する評価項目

	個別評価項目	アウトプット	アウトカム
A	知識・技術の習得	・ 講座修了者数	・ 講座内容の理解度 ・ 受講者の学習の継続率
B	仲間づくり	・ 講座で知り合った人の数	・ 参加者の満足度 ・ 団体・グループへの加入率
C	地域課題の解決	・ 地域課題に気付いた人の数	・ 受講者の意識・行動の変容度 ・ 受講者の自主的な事業企画・実施度
D	学習の仕方の習得	・ 講座修了者数 ・ 学習相談件数	・ 講座内容の理解度 ・ 学習の継続率
E	普及・啓発	・ 資料の配付部数 ・ アクセス数	・ 地元紙等での報道数 ・ 住民の意識の変容度 ・ 資料の認知度
F	市民講師の 発掘・養成	・ 養成講座修了者数	・ 講座等での指導回数 ・ 講師バンクの登録人数
G	リーダー層の 発掘・養成	・ 講座修了者数	・ 講座等での指導・活動回数 ・ 参加者の満足度
H	ボランティアの 発掘・養成	・ 講座修了者数 ・ ボランティアについての情報提供数	・ ボランティアとしての活動回数 ・ ボランティアバンクの登録人数
I	団体の活性化	・ 活動参加者数	・ 活動参加の満足度
J	他機関・団体との 連携	・ 連携団体数 ・ 連携者数	・ 新たに活動を開始した事業数

評価指標の整理

事業のアウトプットとアウトカムの捉え方

社会教育事業

事業実績

事業の直接的な効果
(理解度, 満足度など)

事業目標達成度
(行動の変容など)

アウトプット評価

利用者数や参加者数など
事業の結果を評価する。

アウトカム評価

事業の結果を通じて生じる
人々の意識や行動の変化など、
事業の成果や効果を評価する。